

フラクトグラフィーおよびその破損事例への応用

日時 2015年7月28日(火) 10:30~16:30

会場 江東区産業会館 第1会議室 東京都江東区東陽4-5-18

受講料 49,980円 ※昼食・資料付

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。
 ※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

主催 (株)R&D支援センター

定員:30名

※満席になり次第、
募集を終了させていただきます。

講師 西田 新一 氏 / 佐賀大学 名誉教授 技術コンサルタント 工学博士
【ご専門】 材料強度学

趣旨

製造・販売した、あるいは使用中の機部材の一つの不具合によっては、会社の存続そのものが危なくなる場合が起こり得る。それ程までに製品の品質保証等に、安全性・信頼性が求められるような時にもなっていると考えられる。かかる場合、不具合の原因を解析し、キチンとした対策を施すのが最良の方法であろう。そのためには、破損部材の観察は欠かせない。すなわち、フラクトグラフィーは、最も重要な項目の一つとなっている。

周知のごとく、破損事故の90%以上は、直接・間接的に「疲労」に起因すると言われているが、今なお「疲労」による破損事故は無くなってはいない。その理由として、疲労破損事故は、稼働後数年以上経過してから発生するケースが多いこと、現在のように計算技術が発達し、マクロ的解析には極めて有用ではあるが、疲労はミクロ的現象に起因すること、過去の技術の継承がスムーズに行われていないこと、などを挙げる事ができよう。

本講習会では、破損の事例をいくつか紹介しつつ、それらの解析を通じて、どのように設計に反映すべきか等を、習得できるように丁寧に解説いたします。

申込受付は終了しました

プログラム

- 最近の事故例と破損の統計的解析結果
 - マスコミに登場した破損事例の紹介
 - 設計の基本的考え方の推移
 - 破損の定義
 - 破損事故の発生条件と破損の内訳
 - 破損発生による損失
 - 破損に関与する因子
- 破損解析手法
 - 試料の切断と解析項目
 - 腐食生成物(錆)の除去方法
 - 錆発生による溶損と破面の変化
- 種々の破面のフラクトグラフィー
 - 延性破面
 - ぜい性破面
 - 疲労破面
 - 遅れ破壊
- 応力腐食割れ
- クリーブ破面
- 液体金属割れ
- その他の割れ
- 焼割れ
- 転がり疲労破面
- 二次加工割れ
- 破損事故例とフラクトグラフィーの応用
 - 溶接部からの破損事例解析と対策
 - 軸の破損事例解析と対策
 - バルブの破損事例解析と対策
 - 各種ボルトの破損事例解析と対策
 - 質問に答える
- まとめ(破損解析をベースに提言)

【質疑応答・名刺交換】

『フラクトグラフィーおよびその破損事例への応用』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号	FAX		
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍の情報のご案内をお送りします。 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法
 左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払
 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い
 ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。